

社員ののぞき穴

ライブ参戦！！

いつまでも新人気分が抜けきれず、そろそろ成長しないと肩身が狭くなってきた大谷 巧です。(笑)

6月1日大阪城ホールにて韓国のボーカルグループ「BIGBANG」のライブに行き参りました！その面で韓流～！？とわだかまりが拭いきれない方もいらっしゃるかもしれませんが…

日本デビューして間もない4年前から彼らを追っかけ続けています！

彼らがボクの心を掴んで放さないのが、歌の良さはもちろんのこと、ライブも最高ー！！そしてなによりファンへの温かい気持ちですね！（ちょっとオバサマみたいですか??）

多分これからずっと忘れられないことは、ボクが福島県で被災して間もなく、ファンクラブのスタッフから安否確認の電話があったんです。（ボクはあんまり感じていませんでしたが、ファンクラブと言うと結構ひかれるんですね 笑）

そのとき「なにか困ってることはありませんか？」と聞かれ、『なんとなく聞いてるだけかな』と思いつつ、「水がなくて困ってます」と報告。すると数日後、再度の電話が鳴ったことにビックリ。水を手配したいけど、配送機関が整ってなかったのと混乱を招く恐れがあるとのことで…もうその心意気にビックリです。それだけで十分不安な気持ちが支えられませんでした。（後日応援企画として山盛りのグッズをいただきました！！）

そんなこともあって、BIGBANGにいつまでも感謝を。応援をしていきたいなと思っています。

さて、ライブはというと、ステージが目の前のファンクラブ専用シート！（※値段も通常の2倍です。笑）

残念ながら周りはまだ女性ばかり。そのおかげもあって「男だー！」とBIGBANGメンバーに指さされて何度もハイタッチしてくれました！！他に

も、あんなことやこんなことや…感謝どころじゃなかったですね。

次は11月23日大阪ドーム！楽しみー！！韓流に興味を持たれている方がいましたら、ぜひとも話しかけてください！！

私ごとの報告をもう一つ。わたくし大谷は8月1日に入籍を致しました！

お相手とは付き合ったときから結婚を意識していて、私が福島県在住時に東北大震災にあってから、その意識はさらに加速しました。

そんな背景もあって、プロポーズは今年の3月11日。追悼式典のあとに申し込みました。

（本当は今年のクリスマスに予定していましたが、直前に大げんかしたため大失敗に終わってるんです。笑）

結婚式は12月。入籍の本当の予定は10月でしたが、新居が既婚者向けだったため、予定が早まりました。

結婚式の準備に新居の整理、通勤も車から電車&バス&自転車に…仕事も私生活もてんやわんやしてありますが、新たな門出を温かい目で見守っていただければ幸いです。



みなさまにも幸せが訪れますように！（ちょっと偉そう！？ 笑）

錠日誌について

錠日誌は弊社製品をご購入いただいた皆様に、ご購入後一年半の間、無料でお送りしているものです。

一年半を越えて継続をお求めの方には引き続き無料にてお送りいたしておりますが継続の申込をお願いしております。

恐れ入りますが電話0774-62-9566（月曜から金曜の朝9時から17時まで）にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

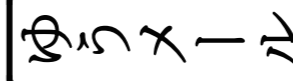
なお、錠日誌のバックナンバーは株式会社P.O.ラボ facebook ページにてダウンロードしていただけます。

かすがい
錠 日 誌

2012/秋号
vol.5

株式会社 P.O. ラボ
〒610-0342
京都府京田辺市松井山川 1-7
電話 0774-62-9566
FAX 0774-62-9667
http://www.po-labo.com

郵便
料金後納



里帰りしてきました

皆さんこんにちは。POラボの岡です。桃から梨へ旬も移り変わってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。外での作業中そこら中で飛んでいた蚊もすっかりないを潜め、過ごしやすくなってきました。

少し前ですが、お盆休みに、実家の島根県松江市に帰省してきました。私の母に孫の顔を見てもらうというのが、目的の一つだったのですが、生後8ヶ月の娘は、母が抱っこしようと、近づいただけで号泣。結局、まともに抱っこできずじまいに終わってしまいました。ハハハ・・・残念。

今回は、帰省のたびに暇をもてあましている妻によって、入念な下調べがされておりました。近くの町の小さな花火大会や、私も知らないマニアックな洞窟を回ったり、こどもが喜びそうな「大鉄道博」なるものに行ったり、親戚の家に遊びに行ったりと、まあ忙しかった訳ですが、これがどれも大ヒットでした。

中でも私の記憶に残ったのが、隣町の小さな花火大会です。

その日は朝から続く雨で、やるのかどうかすら微妙でした。夕方過ぎにといえず雨は上がったのですが、「ほんまにやるんかな？」と思うくらい、今にも降り出しそうな天気。といえず行ってみよう、ということで花火会場に向かいました。兄の車、アルファードを借りて、兄の奥さんと3歳になる甥っ子も一緒に行きました。駐車場に入る際に、挨拶代わりと縁石で車を軽くこすって若干落ち込みつつ車を止め、町民であろう人の流れに沿って、街灯もまぼろな暗い道を会場まで歩きます。雰囲気は、ジブリアニメの、となりのトトロの夜道を歩くような感じ。4歳の息子と甥っ子は、テンション高く走りまわっては嫁に叱られ、父ちゃん（私）は幼い娘を抱っこして、予想外に長い距離を汗だくで歩きました。最後に、嫌がらせかと思うくらいの急な坂を登り切ったところで、景色が開け、町民達の人だかりが・・・ようやく会場に着いたようです。

初めて行ったので、集まってる人が見てる方を「こっちの方に上るんかな」と思いながら見ていました。すると、目と鼻の先の林の中から「シュルッ」。次の瞬間、真上で「ドーン！！」夫婦で思わず「おお！！」と声をあげてしまいました。規模は3,000発とさほど大きくなかったのですが、驚きなのはその距離感。ちょっと見上げすぎの空に上がる花火は、頭の上に降ってくるんじゃないかと思うほどの迫力。開始5分で首が痛くなってからは、雨が上がりたてでまだ少し湿ったアスファルトの上に、息子と寝そべて、その1発1発の迫力を堪能しました。

帰りの車でも「凄かったねえ」「行って良かったな」と話しながら帰りましたが、車を返すときには、兄に「車こすった、ごめん」と謝り、さっきまでの興奮が嘘のように、「はぁ・・・」というため息と共に一日の終わりを迎えました。



実は・・・

今回の帰郷で少し気になることがありました。それは親戚のおじさん家にご挨拶にいったときのことで、ちょうどその家の息子である、私のいとこも家族で帰っていました。少し後で一緒に花火に行った甥っ子も遊びに来たので、結局就学前のこどもの数が5人という動物園状態になりました。

こども達を避けるように、肩身狭くおじさんと話していたのですが、そこで気になったのが、おじさんの体調でした。元々、糖尿病を患っていたのですが、今度は「朝になると、脇腹が引きつるように痛くて、起きられない」ということでした。病院に行ったら「筋肉のリウマチ」いわれたそうです。あまり聞いたことなかったのですが、調べてみると、どうやら「リウマチ性多発筋痛症」のこのようでした。リウマチとはいっても、予後は比較的良好で、副腎皮質ステロイドが良く効くようなので、そこまで心配いらない病気のように思えます。

そこで、「知っ得コラム」の特集として今回から4回に分けて、皆さんも一度は聞いたことがあるであろう、「リウマチ」中でも「関節リウマチ」について触れたいと思います。第一回目の今回は関節リウマチの概略と診断基準についてお話ししたいと思います。

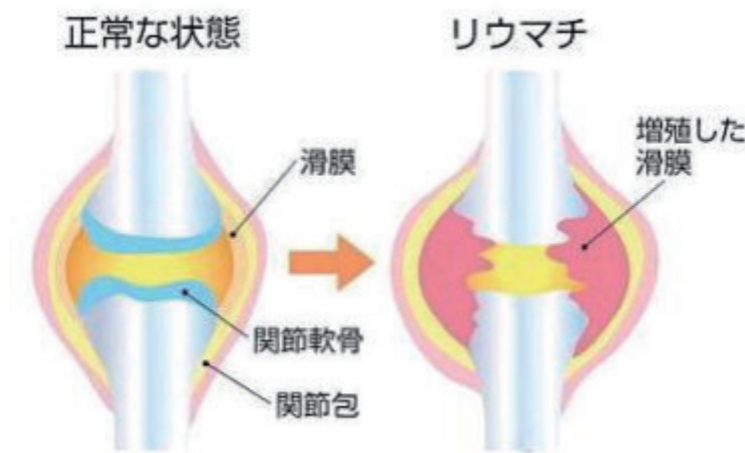
【知っ得コラム】

関節リウマチとは

関節リウマチは、免疫機構の異常により手や足の関節に重い関節炎が生じる病気です。

関節は、骨と骨を繋げる継ぎ目のことで、継ぎ目には、クッションの役割を果たす軟骨があります。そして関節の周りは滑膜といわれる薄い膜で覆われており、関節の隙間に滑液という液体を分泌することで、関節が潤滑に動きます。関節リウマチはこの滑膜に炎症が起き、関節の腫れや痛みが生じ、ひどくなると、軟骨や骨が破壊されてしまう病気です。年代的には幅広い層で起きますが、30～50歳代で多く、男女比では4～5倍で女性の方が多いです。

病気の原因は、よく分かっていませんが、人間の体を守るはずの免疫機能の異常が関わっていることが明らかになっています。



免疫？

免疫というのは、病原体などの異物（抗原）が体内に侵入してきたときに、その異物（抗原）を攻撃する武器（抗体）を作って、異物を体外へ排除するシステムのことで、



免疫の異常というと、花粉症や食物アレルギーなどが知られていますが、これらは体の外からの異物に反応しています。これが体の内部の成分の異常じゃないものを異常と間違えて攻撃してしまうことを自己免疫疾患といい、関節リウマチはこれに含まれます。

以前は、関節破壊や痛みに対して、病状の進行に合わせて対処する対症療法しかできませんでした。メトトレキサートなど抗リウマチ薬の登場により、関節破壊の進行を遅らせることができるようになりました。2003年にインフリキシマブという生物学的製剤なるものの使用が承認されてからは、治療効果は一段と大きく上がりました。治療方針も副作用に配慮しながら発症初期からグッと薬で抑えるというふうに変わってきたようです。

診断

関節に痛みを伴う病気はいろいろあるので、関節リウマチを正確に診断するには、目安となる診断基準が必要です。今までの診断基準では、関節リウマチと確定するのに時間がかかっていました。しかし、2010年ACR/EULAR新分類基準という分類が、早期の関節リウマチ診断に有効ということで、日本でも診断基準の主流となっています。分かりにくい内容ですが、以下のようなものになります。表の点数の合計が6点以上で関節リウマチと診断されます。

2010年ACR/EULAR 新分類基準	
【関節の状態】	
肩・膝・肘など大きな関節に1箇所以上腫れや痛みがある	0点
肩・膝・肘など大きな関節に2～10箇所以上腫れや痛みがある	1点
手や足の指など小さな関節に1～3箇所の腫れや痛みがある	2点
手や足の指など小さな関節に4～10箇所の腫れや痛みがある	3点
手や足の指など小さな関節に10箇所の腫れや痛みがある	5点
【抗体検査(RF、抗CCP抗体)】	
自分の組織や細胞を攻撃する、「自己抗体」の有無や程度を調べる2つの血液検査	
2つの検査(RF、ACPA)とも問題ない	0点
どちらか一方がちょっと問題がある	2点
どちらか一方が大分問題がある	3点
【滑膜炎持続期間】	
滑膜の炎症がおきて6週間未満	0点
滑膜の炎症がおきて6週間以上	1点
【炎症反応】	
炎症の有無や程度を調べる血液検査	
2つの検査(CRP、ESR)とも正常	0点
2つの検査(CRP、ESR)のいずれかが異常	1点

重要なことは、リウマチと似た病気ときちんと識別し、早期に効果的な治療を開始することです。そのためにはこの分類を用いても、熟練の専門医によ

る診断が必要といわれています。私たちが日頃お世話になっている病院で紹介させていただくと、

田辺中央病院 整形外科（京田辺市）

部長 小川 先生

北条 先生

市岡整形外科クリニック（八幡市）

医院長 市岡 先生

みやしまリウマチ整形外科クリニック（枚方市）

医院長 宮島 先生

がりウマチ専門医になられます。関節リウマチに似た症状の病気は結構あるので、気になる方は一度、診察してもらっても良いかもしれませんね。今回の特集についても上記先生方に監修していただいております。

関節リウマチは内容が多くなるので、今号はここまでにさせていただきます。次回は治療の移り変わりについて掲載しようと思います。🏠

【WCV 試乗会開催】



車いす用電動3輪バイクであるWCVの試乗会を下記日程で開催することになりました。

日時 平成24年10月28日（日曜日）

場所 ホームセンタームサシ京都八幡店 旧駐車場

申込締切 平成24年10月19日（金曜日）

定員 15名

申込方法 電話 0774-62-9566、FAX 0774-62-9667、

メール wcv@po-labo.com にてお願いします。🏠